

第2次あきる野市総合計画 令和5年度進捗管理シートに対する総合計画審議会委員からの意見等

R6.7.30時点

対応方針 修正提案（2項目）⇒ 基本的に修正対応とし、審議会資料シートに反映する。

質問・意見（26項目）⇒ 所管している部署に確認・回答案を作成。
審議会前に対応可能な質問については、質問した委員に対し、事前に回答をメール送付。
（間に合わない質問に対しては、審議会当日に回答する）

要望（3項目）⇒ 基本的には、シート中の「総合計画審議会からの意見」欄に記載。
項目…そのまま記載、 項目…言い換え記載、 項目…特殊（対応困難につき記載しない（要説明））

※「総合計画審議会からの意見（案）」の欄について

委員からの意見がないもの⇒ 「特に意見が無い」は、「市が示した令和6年度の取組について異議等はなく、このまま進めて良いため、特に意見が無い」と解釈し、『令和6年度の取組のとおり進められたい』と記載する。

委員からの意見があるもの⇒ 上記の対応方針に応じて、「そのまま記載」「言い換え記載」等とする。

⇒審議会当日には、事務局から「総合計画審議会からの意見（案）」として説明し、各委員からの意見を踏まえ、採否・修正を審議する。
審議会当日に出た意見についても、審議の上、必要であれば「総合計画審議会からの意見（案）」に加える。

⇒審議会後日、いただいた意見等を反映し、（案）を外し、「総合計画審議会からの意見」として整理、決定。
（書面にて、各審議委員に内容を確認してもらい、会長承認の上、「総合計画審議会からの意見」として決定）
（経営会議等でとりまとめ結果を報告⇒部長→課長→各係への情報水平展開）

【1 施策の成果目標】進捗管理シートについて

番号	委員	対象となる章・節	意見	類型	対応	【担当課】	回答・対応	備考
1		1-3「安全で利便性の高い都市基盤の充実」	檜原街道の渋滞による迂回による交通量が増加し、狭小道路が抜け道となり、住民の歩行困難が見られる。檜原街道の信号連動のあり方等、見直しの検討に尽力されたい。 上町→小和田→留原→高尾 南岸道路のあり方についても推進されたい。	要望	意見記載 言い換え	【交通政策課】	⇒シート1に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	
2		6-1「行政運営の健全化」	財政については、多摩地区内で厳しいとされている「あきる野」 財政安定が無くては、市民増加や市政運営、市民サービス等、施策向上が難しくなると考える。行政サービス利用料の見直しなど、行政の節約、市民負担のあり方などについて早急に検討されたい。	要望	意見記載 言い換え	【企画政策課】	⇒シート1に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	
3		3-2「犯罪率」	防犯カメラを増設したほうが良いのではないかな。	意見	各課確認 事前回答	【地域防災課】	・防犯カメラは、発生事案を映像で残すことから、犯罪捜査で効果を発揮します。このことから犯罪発生抑止の効果もあると考えられます。しかしながら、もし犯罪が発生しても、カメラは映像を残しますが、その犯罪を止める事はできません。カメラに写ることを恐れずに行われる犯罪に対しては、抑止効果は期待できません。このため、単に防犯カメラを増やせば犯罪発生率が下がるものではないと考えています。警察官の活動・地域の見守り活動など、現在も市内各所で行われておりますが、そのような人の動き、人の目による防犯活動と組み合わせる必要があります。なお、防犯カメラの設置について町内会・自治会から相談があった際は、地域が主体となって維持管理する、東京都の補助事業をご案内しています。この他、公共施設につきましては、各管理部署において施設管理上必要なカメラを現在設置しています。地域防災課の防犯カメラについては、平成22～24年度に管理している駅駐輪場等へ設置しております。なお、設置の際には、警察署と協議し設置しております。また、令和3年度に東京都からオリンピックで使用した防犯カメラを譲受け、令和4年度から未設置の駅駐輪場及び既存防犯カメラの老朽化による取替えを行っているところです。 〈設置箇所等〉 ○令和5年度 [新設・追加] 東秋留駅北口第3自転車等駐車場・・・新設（増設） 秋留野広場・・・・・・新設（追加設置） [取替え] 東秋留駅北口ロータリー、武蔵増戸駅前ロータリー、武蔵五日市駅前ロータリー ○令和6年度（予定） [新設] 東秋留駅南口第3自転車等駐車場・・・新設（増設） [取替え] 秋川駅南口第1自転車等駐車場、秋川駅北口第2自転車等駐車場、秋川駅北口ロータリー、山田交差点	
						【教育総務課】	・防犯カメラについては、平成26年～29年度に教育総務課で、各小学校の通学路内に設置しています。登下校の見守りの一環として設置しており、整備の際は、学校から要望のあった設置場所を中心に十分精査して決定した経緯があるため、今のところ増設は考えていません。既存の防犯カメラについては、保守点検等を定期的に実施し、適切に管理します。	

4		6-5「広域応援体制の確保」	職員のマイカー通勤の基準を改めて欲しい。（災害時等、いざという時に車でいけるように）	意見	各課確認 事前回答	【職員課】	・ 自家用車（マイカー）での通勤の基準は定めていません。	
5		4-2「合計特殊出生率」	令和6年度の取組に「引き続き、引き続き」と記載がある。間違ではないか。	修正提案	修正対応			修正済
6		2-1「事務所の従業員数」	H28年→R3年でマイナス804人と約4%の減少だが、目標は維持となっている。かなり大きな減少なので、（評価区分は）Bとした方が良いと考えます。戻すには相当な労力が必要と考えます。	意見	各課確認 事前回答	【商工振興課】	・ 令和5年度の実績値については、最新のデータとして「令和3年度経済センサス活動調査」の確定値を掲載しています。令和3年度の調査時点では減少している一方で、令和5年度までの間に物流拠点や検査施設等が新規開業していることから、実際には増加が見込まれるものと想定し、評価はA（目標値どおり）のままとしています。	
7		2-3「年間入込観光客数」	目標設定がR5年度となっているのに、調査未実施のため不明「Z」というのは意味の無い目標であり、中止の「Y」か延期「R6年」と標記すべき。この回答はありえない。	意見	各課確認 事前回答	【観光まちづくり推進課】	・ 評価区分については、調査未実施の場合、表記を統一しています。 ・ 本調査は、原則5年毎に実施しており、令和4年度が実施年度でしたが、新型コロナの影響等により延期しました。また、令和5年度についても新型コロナの影響が残っていたため、延期しましたが、令和6年度の実施を目指し、西多摩地域広域行政圏協議会において、調査業務委託の受注者を選定した所です。	
8		2-3「秋川渓谷Wi-Fi（アクセス数）」	R5年にコロナの制限がなくなったにも関わらず、R4→R5は1割以上減少しており、実際には不要になっている可能性がある。このまま減少するなら中止も考慮した方がよい。	意見	意見記載 各課確認	【観光まちづくり推進課】	・ ご指摘のとおり、利用者は約1割減少しているものの、当市に観光で訪れた方の利用、また、災害時には、アクセス制限なく利用開放する目的があるため、引き続き、利便性・快適性を向上させるとともに、周知・啓発を図ってまいります。	
9		2-3「あきる野市観光情報Facebookページファン数」	インスタも初めてはどうか。	意見	各課確認 事前回答	【観光まちづくり推進課】	・ 観光まちづくり推進課で実施している既存の情報発信ツールにおいて、継続的に情報発信に努めます。 ・ インスタグラムについては、既に市長公室で開設しており、観光を始めとする市の情報発信を取り組んでいることから、現時点において、観光まちづくり推進課での開設は予定していません。	
10		2-4「農地の利用集積」	「R2：15.1」「R5：4」「R8：21.1(目標値)」「R4-8：7.1」というものであり、目標値通り「A」という評価の意味がわからない。6haが目標ということか。	質問	各課確認 事前回答	【農林課】	・ 目標は21.1haです。令和2年度までの実績が15.1ha、令和4年度～令和8年度までの集計が7.1ha合わせて22.2haとなりR5年度現在で目標をクリアしているため、評価は「A」となっています。	
11		2-4「耕作放棄地面積」	市の独自調査を行うか、中止（Y）とするべき。別の項目を作るというものでもよい。	意見	意見記載 各課確認	【農林課】	・ 現在独自調査を検討しています。	
12		3-1「国際化の推進の満足度」	国際化とは、外国人が住みやすくするため日本人（あきる野市民）が犠牲を払うことか。基本的には外国人が日本に住みたいのなら日本人と同じように日本語を話し、日本の事を勉強してから住むべきであり、このような事を続けていては、日本が潰れてしまうため、すぐに中止すべき。	意見	意見記載 各課確認	【企画政策課】	・ 「あきる野市第2次総合計画」においては、人種や国籍にかかわらず、それぞれの文化の違い等を相互に理解し、尊重し合えるよう、意識啓発等に取り組むとしております。このため、各種パンフレット等における外国語での表記など、外国人にやさしいまちづくりを推進するとともに、「やさしい日本語」の取組などを通じて、外国人における日本の文化の理解促進などに取り組んでいきたいと考えております。	
13		3-2「地域防災リーダー数」	「R2：805」→「R5：860」→「R8：915」ならAだが、目標1200なら（評価区分は）B、Cでもよい。	意見	各課確認 事前回答	【地域防災課（防災担当）】	・ 地域防災リーダー育成事業を再開し、登録者も増加したためA評価としましたが、高齢等により辞退する方も増加しています。いただいたご意見の通り、目標値に対する達成率は低いため、B評価に修正します。	評価修正
14		3-2「非核平和都市宣言の発信」	現在、戦争が起きている国は核を持っていない国であることをみんな知らないのではないか。核兵器をもっていれば、国民の平和は守られることを議論することも大切だと思う。あくまで抑止力として。	意見	意見記載 各課確認	【企画政策課】	・ あきる野市平和都市宣言は、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現され、世界が平和になることを求めるものであります。その一方で、現在も世界で戦争が行われており、核兵器を保有している国がある中で、現実問題として、国民や市民を守る方策については、国などにおいて議論すべき事柄であると認識しております。	
15		3-3「市内・市役所の二酸化炭素排出量」	人間の出す二酸化炭素が温暖化につながることは証明されていない。基本的には原発の利権がからんでいる話であり、このようなことはやめてよい。	意見	意見記載 各課確認	【環境政策課】	・ 人間の出す二酸化炭素と温暖化の関係性については、ご意見のようなお考えをお持ちの方がいる一方で、「IPCC第6次報告書」では、地球温暖化の原因として「人間活動が大气・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とされています。市としては、国の計画に準じて策定した「地球温暖化対策実行計画」に基づき、取組を進めてまいります。	
16		4-1「特定健診受診率」	R5目標値60%、実績46.9%、これでAはおかしい。	意見	各課確認 事前回答	【健康課】	・ コロナ禍から減少していた特定健康診査の受診率が令和5年度は増加しているが、第3期実施計画の最終目標である令和5年度目標値の60%に到達していないことから、評価区分をAからBに修正します。令和6年度は第4期実施計画の令和8年度目標値54.6%に向けて、引き続き未受診者への勧奨やSNS及び動画での周知を行い受診率の向上を目指します。	評価修正
17		4-1「地域医療体制に対する満足度」	前回アンケート結果とR2年度が変わっていないのに、Zのままでは進まない。休日深夜診療を医師会がやめたこともあり、どうすれば良いかを市民から聞き、それを実行するべき。	意見	意見記載 各課確認	【健康課】	・ 評価については、実績値や目標値の根拠となる市民アンケート調査が隔年実施であり、令和5年度は実施しなかったため、市民アンケート調査に係る項目はZ評価で統一しています。また、令和6年度市民アンケート調査は発送準備を完了している段階のため市民に具体策を問う項目を盛り込むことはできませんが、健康課事業の勧奨通知にアンケート調査を盛り込む等により別途調査を実施し、市民の声を集め検討していきます。	
18		4-2「合計特殊出生率」	直接的な取組が行えないのであれば、中止も考慮するべき。	意見	意見記載 各課確認	【こども政策課】	・ 次回、総合計画の見直しを行う際に、成果目標の設定についても検討してまいります。	
19		5-1「ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定数」	あきる野市で認定できる事業所はたくさんあると思うが、申請が面倒なのとメリットがないので申請しない考える。（当院も）	意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】	・ WL B推進事業所として認定された事業所のWL Bの取組について、広報あきる野や市ホームページに掲載するとともに、担当部署の窓口等において、チラシの掲示を行っているところであり、各認定事業所の取組が広く知られることは、事業所にとってメリットであると考えております。しかしながら、申請の簡略化と認定事業所に対するメリットの拡大については更に検討して参りたいと考えております。	

20		5-4「全国学力学習状況調査における各教科の平均」	国語、算数、英語などの点数を上げるのに、ICTを活用と言っている時点でできないと思う。紙の教科書、自分の手で書くこと、話をするのが何よりも重要。	意見	各課確認 事前回答	【指導室】	・紙の教科書が使いやすい子もいれば、デジタルの方が使いやすい子もいます。学習の場面や目的によっては、デジタル教科書が便利場合もあり、子どもによる好みの違いもあります。同様に、自分の手で書くのが好き・得意な子もいれば、苦手な子もいます。手で書く良さもあれば、パソコンで書く良さもあります。話し合いについても、直接話し合う良さやメリットはある一方、ICTを効果的に活用することで、瞬時に多数の意見を共有することができるとともに、複数の意見をグラフや表、テキストマイニング等に容易にカスタマイズできるメリットがあります。限られた授業時間の中で、ICTを活用することがより深い学びにつながっていくと考えています。重要なことは、紙の教科書を使う、手で書くなど、同じ教材、同じ方法で学習することではなく、一人一人の子どもが、多様な選択肢の中から、自分に最適な「学習方法、学習時間、教材等」、「学習形態、学びの道筋等」を自己選択・自己決定し、学びを自己調整する力を身に付けさせることだと考えています。 ・また、発達障害の可能性や特異な才能のある子ども、家で日本語を話す頻度が少ない子どもなど、学級には様々な特性をもつ子どもが存在しています。子どもたちが多様化する中で、「一斉一律の授業スタイルは限界にきている」と言われています。加速度的に変化する社会の状況を踏まえ、学習指導要領において示されている資質・能力の育成を着実に進めることも重要です。そのために、学校における基盤的なツールであるICT（一人1台端末含む）を最大限に活用しながら、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。	
21		5-5「図書館貸出冊数」	来館数、登録数が増えているのに、貸出冊数が減っているのなら、評価Aは甘い。1人に貸し出す本の数を増やす努力が必要。	意見	各課確認 事前回答	【図書館】	・評価については、評価区分に基づき判定していますが、貸出冊数を増加させるため、「テーマ展示」などで市民の読書意欲を高める働きかけを積極的に行うほか、督促方法や予約取置き期間等の見直しにより、資料提供までにかかる時間短縮を行えるよう検討して参ります。	
22		2-4「消費者志向に合わせた都市型農業の推進」	秋川ファーマーズセンターと日の出町グリムとの関係は？ グリムに比べて、ファーマーズセンターの野菜は高値である（秋川は観光地の道の駅扱い？）。	質問	各課確認 事前回答	【農林課】	・秋川ファーマーズセンターも日の出町ふれあい農産物直売所、共にJAあきがわが運営する直売所です。野菜の価格は、各会員の判断で設定されています。なお、それぞれの会員はどちらの直売所にも出品可能です。	
23		4-3「放課後等デイサービスの利用人数/グループホーム利用者」	放課後デイサービスの利用人数、グループホーム利用者について、支援体制の充実を図る、とあるが、具体的にどの様な支援なのか。	質問	各課確認 事前回答	【障がい者支援課】	・計画相談事業等における丁寧な対応や地域自立支援協議会の各部会において事業所間の連携を促進するなど、支援体制の充実を図っています。	
24		5-3「90日以上欠席の児童・生徒が、支援につながった割合」	6年度の取組の欄について、「解説するとともに」となっていて、「と」が一つ多い。	修正提案	修正対応			修正済
25		6-5「姉妹都市に関する事業の継続」	姉妹都市に関する事業の継続の中、6年度の取組の中で、栗原市との職員交流を引き続き実施すると共に、その成果を市民に広くPR出来るよう周知するとあるが、具体的に周知の内容はどのようなものか。	質問	各課確認 事前回答	【企画政策課】	・令和6年度については、栗原市の職員がある野市へ訪問する予定となっており、栗原市と意見交換の議題について調整を行っています。交流に当たっては、栗原市の職員との意見交換等の実施を予定しており、実施した交流内容について、市ホームページにおいて周知を行う予定です。	
26		1-2「緑豊かな都市環境の形成に対する満足度」	満足度R2年度24.8%、R4年24.7%（昨年度回答）。自然環境が豊かなあきる野市においては満足度が低いように感じますが、この数字をどのように分析し、どのような分析を立てていきますか。	質問	各課確認 事前回答	【都市政策課】	・市域全体が豊かな緑に囲まれている一方で、市街地においては市民が身近に利用する公園緑地などの整備が不足している地区も存在しています。今後は国土交通省の示す運用指針等に基づき、充足を図っていく必要があると考えています。	
27		5-2「生涯学習コーディネーター養成講座受講者数」	①受講者数が少なく、数年間で改善していませんが対応策は？ ②受講した方がどのような活動をしているのですか？ 講座の成果を教えてください。	質問	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	①受講者数については、これまでも途中辞退者がいたことから、講座内容等の見直しを行っています。また、令和6年度からは講座日程の短縮、土曜日の講座実施などを行うことで、受講者負担の軽減を図りました。なお、現在の所、受講者数は6人になります。 ②受講後は、生涯学習コーディネーターの会に入室することによって、人材バンク活用事業である「市民ふれあい塾」、生涯学習コーディネーター養成講座及び生涯学習シンポジウムの企画・運営に携わることができます。	
28		5-3「青少年の健全育成の推進」	前回の意見に対して、どのような対策をしたのか。 （※昨年度のご意見データ「青少年という幅の広い世代への成果目標なので、ここに示されていない世代への対策の成果目標を示してほしいです。」）	質問	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	・前回、市からの補正事項としてお伝えしましたとおり、今次計画における成果目標の修正は困難でありますので、次期計画における成果目標設定を検討していきたいと考えております。	
29		5-5「図書館貸出冊数」	①前回、図書館の座席について意見が出ていましたが、どのように改善されましたか？ ②図書館の利用ニーズを市民からどのように吸い上げていますか？	質問	各課確認 事前回答	【図書館】	①席数について、現在はコロナ禍前の席数に戻っており、前年度から継続して混雑が予想される場合には会議室の開放も視野に入れています。この1年間では席が不足しているのご意見はありません。 ②利用ニーズについては、利用者アンケート等から収集しています。	
30		3-1「町内会・自治会世帯加入率」	連合会と協議を進めてきたが、5年度は2ポイント下がった。6年度も協議に参加しながら検討するところだが、何を検討するのか不明確。このままでは、具体化しないうちに更に下がる。知識人も入った協議会を設け、広い意見を求めるべきだと思う。このままでは、「検討する」で連合会がなくなる危険性もある。市長がある野市への移住を進めているが、町内会自治会へ入ることを条件としていますか。不動産会社等へも加入条件をつけてみてはどうか。	要望	意見記載 言い換え	【地域防災課（地域安全係）】	⇒シート1に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	

その他								
番号	委員	対象となる章・節	意見	類型	対応	【担当課】	回答・対応	備考
1		子育て政策全般	子ども・子育てや保育に関するものについては、成果目標がどうしても定量的なものになってしまい、必ずしもそれでは馴染まないものが少なくありません。そのことも含めて、近年、政府レベルでもEBPMが重視されているように、エビデンスベースの成果目標（アウトカム）やPDCA的な改善を可能にするEBPMの考え方や手法を取り入れることが、今後の大きな課題だと感じています。	意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】	・「第2次あきる野市総合計画」の後期計画策定時に向けて、KPIを用いた目標設定や、事業の内容をEBPMを用いて検証する手法を検討してまいります。	